

# 三次市ため池 ハザードマップ

## 米丸池

ため池番号: 342090539

このマップは、防災重点ため池が決壊した場合に、被害が予想される範囲を表示しています。

災害の状況によっては、表示されている範囲以外においても、被害が発生する可能性がありますので、注意が必要です。

### 凡 例

- 対象ため池
- その他のため池
- ため池決壊後の到達時間
- 河川
- 鉄道
- 土砂災害特別警戒区域（急傾斜地）
- 土砂災害特別警戒区域（土石流）
- 土砂災害特別警戒区域（地すべり）
- 土砂災害警戒区域（急傾斜地）
- 土砂災害警戒区域（土石流）
- 土砂災害警戒区域（地すべり）

### 地図上に示す記号の凡例

- 基幹避難所
- 補助避難所
- 地域避難場所
- 福祉避難所
- 浸水時緊急避難施設
- 広域避難場所

※災害の状況によっては、開設されない場合や、他の安全な場所に移動しなければならない場合もあります。

周囲の状況を確認し、命を守る行動をしましょう。

60分  
50分  
40分  
30分  
20分

15分  
10分  
5分  
3分

米丸池  
貯水量: 800m<sup>3</sup>  
堤高: 2.8m

0 200 400 600 m

西光寺 青河小学校 青河コミュニティセンター

原田集会所

宮地集会所

### 地域内の主要避難所（青河地区）

名 称	種別	土砂	洪水	地震
青河 コミュニティセンター	基幹	○	○	○
青河小学校	補助	○	○	○

「○」印は、その災害に対する避難場所に指定している事を示しています。種別欄の「基幹」は「基幹避難所」、「補助」は「補助避難所」を表しています。

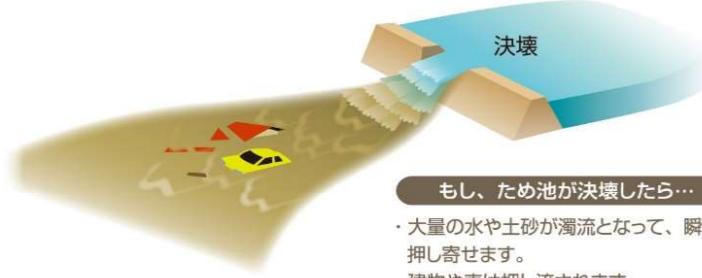
### 最大水深と浸水程度の目安

0.0~0.2m	大人のひざまでかかる（床下浸水）
0.2~0.5m	
0.5~1.0m	大人の腰までかかる（床上浸水）
1.0~2.0m	1階の軒下まで浸水する
2.0~3.0m	
3.0~5.0m	2階の軒下まで浸水する
5.0m以上	2階の屋根以上が浸水する

この地図の作成に当たっては、地理院地図Vectorを加工して作成した。

# 三次市ため池ハザードマップ

平成28年熊本地震や、平成30年7月豪雨などの近年の災害において、ため池が相次いで決壊し、下流の地域で被害が発生しています。このマップを活用して、ため池が決壊した場合に被害が予想される範囲や、避難方法を確認しましょう。



- 大量の水や土砂が濁流となって、瞬時に押し寄せます。
- 建物や車は押し流されます。
- 道路や住宅地、田畠は土砂に埋まります。

## いざというときの緊急連絡先 (TEL)



ため池の亀裂や漏水などの異常を発見した場合は、**ため池管理者**まで連絡をお願いします。



**警察 110**



**消防 119**

三次市役所（代表）

**0824-62-6111**

三次警察署

**0824-64-0110**

備北地区消防組合・消防本部

**0824-63-1191**

災害情報案内

**0824-62-5119**

災害用伝言ダイヤル

**171** (局番なし)

## 積極的に防災情報を入手しよう

### スマートフォンアプリによる配信サービス



音声告知放送の緊急放送が、お使いのスマートフォンから自動的に流れます。受信した音声放送は、何度も聞き直すことができます。

三次市では、災害時における防災情報をさまざま形で配信しています。

### 防災一斉メール配信サービス



下記アドレスに、空メールを送信して、登録してください。

bousai.miyoshi-city@raiden.ktaiwork.jp

### 防災情報ファックス配信サービス

防災一斉メール配信サービスが利用できない方を対象に、ファックスによる配信をおこなっています。登録手続きは、危機管理課、または各支所の窓口まで。

## ●ため池決壊について知ろう

### »ため池決壊の原因 (大雨と地震)

#### 大雨

集中豪雨や長雨、土砂災害や流木などによって、ため池の水位が上昇すると、堤防で漏水が起こったり、越水した水の勢いで堤防が侵食されて、ため池が決壊するおそれがあります。

#### 地震

地震による強い揺れによって、堤防に亀裂や陥没などが発生したり、地盤が液状化してため池が決壊することもあります。



### ○ため池決壊と同時に発生するおそれがある災害

ため池が決壊するおそれがある状況では、周辺で様々な災害が発生していることが考えられます。ため池決壊と同時に注意が必要です。



## ●ため池決壊による浸水の深さを想定した避難の流れ

### 【マップを確認】

●想定される浸水の深さによって、避難方法は異なります。

●裏面の地図で、自分の家で想定される浸水の深さを確認し、避難の方法を考えましょう。

### 【浸水の深さ】

**3m 以上** の浸水

- 2階以上が浸水
- 水流が強い場合には、木造住宅が倒壊する危険がある

**0.5~3m 未満** の浸水

- 床上浸水
- 1階以上が浸水
- 強い水流の中を歩くことは危険

**0.5m 未満** の浸水

- 床下浸水
- 大人のひざ下程度
- 浸水の深さがひざ上になると、歩行は危険

### 【判断】

必ず

**浸水しない場所**  
(避難場所、道路、空き地、高台など)

- 安全な場所へ避難する
- 立退き避難

**自宅の2階**  
危険のない近くの高い建物

- 自宅や近くの丈夫な建物の2階以上にとどまる
- 垂直避難

**自宅にとどまる**

- むやみな移動はかえって危険
- 屋内安全確保

### 【どうやって】

- 歩きやすい服装
- 徒歩で避難
- お年寄りなどの避難に協力を
- 事前に避難先を話し合う

- 水、食べ物、簡易トイレ、懐中電灯、ラジオ、貴重品などを2階を持って上がる
- 近所のお年寄りも一緒に

- こんなときは避難しましょう
- 大規模な地震が発生したら(2~3日後までは警戒が必要)
- 集中豪雨、長雨のとき
- 避難勧告、避難指示(緊急)が発令されたら

## ●「警戒レベル4」で全員が安全な場所に避難しましょう

避難情報が発令された場合には、さまざまな手段で住民のみなさんに伝達します。

「警戒レベル3」や「警戒レベル4」で、地域のみなさんで声をかけあって、安全・確実に避難しましょう。



- 音声告知放送
- インターネット
- 携帯電話 (登録制メール・エリアメール含む)
- ケーブルテレビ ●ラジオ
- 広報車 ●サイレン ●拡声器 ●半鐘

住民のみなさん

高

警戒  
レベル 5

既に災害が発生している状況です。命を守るための最善の行動をとりましょう。

危  
険  
度

警戒  
レベル 4

全員が速やかに避難

速やかに避難先へ避難しましょう。

中

警戒  
レベル 3

高齢者など避難

緊急避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や、自宅内より安全な場所に避難しましょう。  
避難に時間要する人(ご高齢の方、身体の不自由な方、乳幼児等)とその支援者は避難をしましょう。その他の方は、避難の準備を整えましょう。

低

警戒  
レベル 2

ハザードマップで避難行動を確認しましょう。

警戒  
レベル 1

災害への心構えを高めましょう。

※各種の情報は、警戒レベル1~5の順番で発表されるとは限りません。状況が急変することもあります。  
※危険を感じたら、これらの発表を待たずに自主避難をしてください。  
※逃げ遅れによる被災が多くなっています。